

鑑別診断力と危機管理能力の向上をめざす

治療前にまず診断ありき、このドグマをもう一度考えてみましょう。

正しい診断がよい治療結果をもたらすのは間違いありません。しかし、日常の診療で、曖昧な診断や思い込みの診断のまま、治療を始めていないでしょうか。歯や歯肉にばかり気をとられて粘膜や顎骨の重大な疾患を見落としてはいないでしょうか。また、注意を怠って治療を急ぐあまり患者の容態が急変して狼狽することはないでしょうか。その際も患者の状態を診断して適切な対応を迅速にとる必要があります。危機管理にも診断(判断)が重要なのです。

そこでこのプログラムでは、顎関節、口腔粘膜、心身、画像、全身状態の診断にポイントを置いて各専門家が解説します。

※プログラム詳細及び申込書については、裏面をご覧ください。



口腔腫瘍学分野 教授 大関 悟

【主な経歴】

1974年九州大学歯学部を卒業、同大学院歯学研究科を修了後、九州大学歯学部附属病院助手、講師、助教授を経て、1999年に福岡歯科大学教授に就任、現在に至る。特に口腔癌の治療を専門に行っており、「口腔癌診療ガイドライン策定委員会」の委員長として「口腔癌診療ガイドライン」を作成しました。

【主な資格】

日本口腔外科学会 指導医、専門医
日本顎関節学会 指導医
日本口腔腫瘍学会 理事
日本口腔科学会、日本頭頸部癌学会、
日本口腔粘膜学会 評議員



画像診断学分野 教授 湯浅賢治

【主な経歴】

1980年に九州大学歯学部を卒業後、九州大学歯学部放射線学講座助手、長崎大学歯学部歯科放射線学助手、九州大学歯学部歯科放射線学講座講師を経て2001年に福岡歯科大学教授に就任、現在に至る。口腔や顔面部に発生した腫瘍等の病変に対して、エックス線検査、CT検査、MRI検査、超音波検査等の最新の機器を用いて、その病変の診断を行っています。

【主な資格】

日本歯科放射線学会指導医、専門医

場所

福岡歯科大学 口腔医療センター セミナー室
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-2-1 日本生命博多駅前ビル1F
TEL:092-409-1050 FAX:092-409-1051

定員

20名
※申込み締切 平成27年1月16日(金) 先着順となります。お早目にお申し込みください。
※申込み方法は裏面の参加申込書に記入していただき、FAXにてお申し込みください。

講習費

15,000円
※昼食代は含んでおりません。各自でご準備願います。
※部分受講も可能です。その場合の受講料は、1日6,000円となります。

主催

・福岡歯科大学・福岡医療短期大学 地域連携センター
・福岡歯科大学歯科医師卒後研修委員会

問合せ先

福岡歯科大学歯科医師卒後研修委員会事務局 総務課 和才
TEL:092-801-0411 FAX:092-801-4909
Email: shomu@college.fdcnet.ac.jp

講師陣



口腔医療センター長
古賀千尋



麻酔学分野
教授 谷口省吾



口腔外科学分野
教授 池邊哲郎



口腔外科学分野
講師 米津博文

講習内容

	日時	内 容	講 師	
第1回	1月25日 (日)	午前の部 10:30 ～ 12:00	顎関節症と顎関節脱臼 顎関節症をもう一度見直し、その病態と鑑別診断のポイントを解説します。また、高齢者に多い顎関節脱臼の対応法を解説します。	口腔外科学分野 講師 米津博文
		午後の部 13:00 ～ 14:30	口腔心身症の病態と治療 患者も医師も同時に悩まず悩ましい心身症。その診断と対応法を豊富な経験を交えて丁寧に解説します。	口腔医療センター センター長 古賀千尋
第2回	2月8日 (日)	午前の部 10:30 ～ 12:00	歯科診療室における全身偶発症 診断中に患者が体調不良を訴えた際に迅速に対応するためには、まず患者のバイタルサインを判定しなければなりません。そのポイントと実行すべき対応を解説します。	麻酔管理学分野 教授 谷口省吾
		午後の部 13:00 ～ 14:30	ビスフォスフォネート、抗血栓薬、抗がん剤服用患者の要点 歯科診療に伴う偶発症や合併症を未然に防ぐには、患者が服用している薬物の知識が必要です。抜歯など歯科診療で問題となる薬物をピックアップして、その副作用と対応を解説します。	口腔外科学分野 教授 池邊哲郎
第3回	2月22日 (日)	午前の部 10:30 ～ 12:00	口腔癌と口腔粘膜疾患 (鑑別診断のポイント) 口腔癌も早期発見・早期治療が予後に大きく影響します。歯科医師は口腔癌の早期発見の義務があると言っても過言ではないでしょう。そこで様々な口腔粘膜疾患と口腔癌との鑑別のポイントを解説します。	口腔腫瘍学分野 教授 大関 悟
		午後の部 13:00 ～ 14:30	顎骨病変の鑑別診断と画像読影のポイント 撮影したエックス線画像で何かを見落としていないでしょうか。歯や歯槽骨に注意するあまり顎骨病変に気がつかなかったということがないように、画像読影法をわかりやすく解説します。	口腔腫瘍学分野 教授 大関 悟 画像診断学分野 教授 湯浅 賢治

※プログラムの内容や日程は変更になることがあります。

福岡歯科大学 生涯研修プログラム 参加申込書 (お申込み FAX 先 : 092-801-4909)					
研修コース : 鑑別診断力と危機管理能力の向上をめざす				受講料	15,000 円
(フリガナ)			勤務先		
お名前					
郵便番号		ご住所			
TEL		FAX		Email	